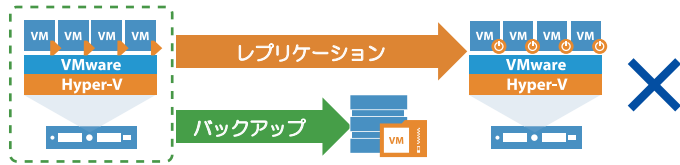


Veeam Backup & Replication エディション比較

データ保護対象ハイパーバイザホストの CPU ソケット数 ライセンスエディション



Standard	コストを抑えてデータ保護を実現
Enterprise	確実なデータ復旧柔軟な管理を実現
Enterprise Plus	効率的なデータ保護管理者の負担削減

v9.5 : Veeam Backup & Replication Version 9.5の新機能、改善 (📌) : 一部サポート

共通機能		Standardから利用可能な共通機能		
分散アーキテクチャ	バックアップ	レプリケーション (フェイルオーバー/フェイルバック)		
VMware: プロキシ(処理代行) サーバで、大規模環境にも対応。SAN、NFSから直接データ取得。Hyper-V: CSV、SMB3上のVMをオフホストプロキシで負荷分散し、データ保護可能。共有VHDXや差分ディスクのバックアップにも対応。	VMのイメージベースバックアップが可能。 • 変更ブロックの追跡 (CBT) • 合成フルバックアップ (永久増分) • 重複排除、圧縮、スワップファイル除外 • 定期的なファイル破損チェック、デフラグ対応	DR、HA目的で世代管理が可能な複製VMを作成。 • 複製VMのネットワーク、IPアドレスの切り替え可能なフェイルオーバー • 元VMへデータを切り戻すフェイルバック • バックアップファイルをソースとし、環境への負荷を削減		
アプリケーション認識処理	BitLocker (ビットLocker) 機能	計画的なフェイルオーバー		
Veeam独自にMicrosoft VSSに対応し、オンラインでアプリケーションの整合性を保ったデータ保護を簡単に実現。VMへのファイル配置の手間なく、カスタム静止スクリプトも設定可能。	NTFSマスターファイルテーブル (MFT) を分析し、BitLockerで暗号化されていても、削除されたファイルの属するブロックを特定、バックアップサイズや転送量を削減。	データ損失なく、ダウンタイムの少ない移行をレプリケーションで実現。ソースVMのシャットダウン、最新状態の反映、複製フェイルオーバーといった移行の流れを自動化。		
インスタントVMリカバリ	各種リストア	スタンドアロンコンソール		
サイズ依存なく、どんなVMでも数分のRTOを実現。データ転送なしで、仮想環境にバックアップを透過的にマウントしバックアップファイルからVMを直接起動、起動後にオンラインで運用ストレージへデータを移行可能。	• フルVMリストア (変更ブロックのみのロールバック対応) • VMの構成ファイル、仮想ディスク単位 • ゲストOSファイル (19のファイルシステム、Windows ダイナミックディスクやLinux LVM複数ディスク構成も対応)	ノートPCやデスクトップPCにコンソールのみをインストールし、Veeamサーバにリモートデスクトップで接続する手間なく、各コンソールから完全な管理が可能。		
バックアップ コピー (2次バックアップ)	クイックバックアップ	vSphere Web Client プラグイン		
Backup Copy Job (2次バックアップ) によりオフサイトへ簡単にバックアップをコピー可能。GFS設定で、年、四半期、月といった長期的なアーカイブポリシーも簡単に実現。	ジョブによるスケジュールバックアップとは別に、既存のジョブに含まれる指定したVMのみ的高速な増分バックアップを実施可能。	vSphere Web Clientからバックアップのモニタリング、クイックバックアップ、VeeamZIPの実行が可能。VMオーナー自身がスナップショットの代わりにバックアップを取得。		
クイックマイグレーション (VMware)	Windows ReFSとの統合 v9.5	Microsoft Azureへの直接リストア v9.5		
Veeamによる仮想マシンの移行機能。vCenterがなくとも、仮想マシンをスタンドアロンなvSphereホスト間、データストアに移行が可能。	Windows Server 2016のReFSボリュームにデータを保存する際、ReFS APIと統合し、既存ブロックを参照した高速なクローンによる合成フルバックアップ作成が可能。	オンプレミスのWindowsベース、LinuxベースのVMや物理サーバのエンドポイントをMicrosoft Azureへ直接リストア可能。		
アプリケーションレベル検証/復旧 アプリケーションレベルでの復旧検証や各アプリケーションのオブジェクト単位でのリストアを簡単に実施				
機能	S	E	EP	S : Standard E : Enterprise EP : Enterprise Plus
アプリケーション自動復旧検証 SureBackup/Replica		●	●	バックアップ、レプリケーション内の依存するアプリケーションを実行している複数のVMをネットワーク的に隔離された環境で起動。Pingテストからアプリケーションテストまでを自動で実施、カスタムスクリプトもサポート。オンデマンドなサンドボックスとしてアップデートやパッチ適用の検証、トラブルシュート、トレーニングなどにも利用可能。
Veeam Explorer for Oracle		●	●	データベースとトランザクションログファイルから、検索機能で簡単にOracle各データベースのリストア/エクスポートが可能。エージェントレスなトランザクションログのバックアップとアーカイブログの管理、オリジナルまたは新規Oracleサーバへ、トランザクションレベルでの復旧が可能。
Veeam Explorer for Microsoft Active Directory	📌	●	●	ユーザ、グループ、コンピュータ、連絡先などの全種類のADオブジェクトの検索とパスワードを含むリストア/エクスポートが可能。 S : 単一のユーザとコンピュータアカウントのLDIF形式でのエクスポート、パスワードを含むADへ直接リストアのみ E以上 : コンテナ、グループポリシー (GPO)、AD統合のDNSレコード、構成パーティションを含む複数のオブジェクトのリストアも可能
Veeam Explorer for Microsoft Exchange	📌	●	●	Exchange 2010、2013、2016の各種アイテム、オンラインアーカイブメールボックスを検索、リストア/エクスポートが可能。電子情報開示のためにクエリ結果サイズ推定とエクスポート概要レポートも可能。 S : アイテムの保存と送信、PSTエクスポートのみ E以上 : 元のメールボックスへのリストアも可能
Veeam Explorer for Microsoft SQL Server	📌	●	●	データベースとトランザクションログファイルから、検索機能で簡単にSQL Server各データベースのリストア/エクスポートが可能。 S : ローカルへのリストアポイントのデータベースのエクスポートのみ E以上 : エージェントレスなトランザクションログのバックアップとリプレイ、トランザクションレベルでのデータベース復旧、オリジナルまたは新規SQLサーバへSQLオブジェクト (テーブル、ストアドプロシージャ、ビューなど) のリストアも可能
Veeam Explorer for Microsoft SharePoint	📌	●	●	検索と参照機能により、SharePointの可視化、アイテム、サイト全体、サイトコレクションの迅速なリストア/エクスポートが可能 S : アイテムの保存と送信、エクスポートのみ E以上 : オリジナルへの直接リストアと、サイト全体、サイトコレクションのリストアも可能

拡張機能		より柔軟な管理、負荷のコントロール、パフォーマンス強化などを提供する多彩な拡張機能						
機能	S	E	EP	S: Standard E: Enterprise EP: Enterprise Plus				
vCloud Director 拡張サポート	●	●	●	vAppのメタデータまで含むバックアップとリストア S:フルバックアップ (Veeam ZIP) のみ E以上: 世代まで意識したバックアップ				
テープサポート	●	●	●	ファイルおよびVMのバックアップをWindowsに接続されたスタンドアロンテープ、テープライブラリ、VTLにバックアップ/アーカイブ S: Windows、Linuxサーバ上のファイルのアーカイブのみ E以上: バックアップ世代を意識したアーカイブ、メディア追跡、長期保存用GFSブール機能など				
暗号化	●	●	●	重複排除や圧縮率、WANアクセラレーションに影響を与えることなくエンドtoエンドのAES256 bitの暗号化が可能 S: 暗号化可能 E以上: パスワード紛失時の復旧機能も提供				
Web UIからの管理	●	●	●	複数のVeeamバックアップサーバをWeb UIで一括管理、データ保護の状況確認、レポート、管理 S: 状況確認、レポートとジョブの開始と停止のみ E以上: ジョブの編集やクローンの作成も可能				
タスクの自動化 (API連携)	●	●	●	全エディションでPowerShellから通常コンソールと同等の設定やジョブ実行、リストアをサポート EP: RESTful APIから、Web UIと同等の設定やジョブの実行、リストアも可能				
ゲストOSファイル/フォルダ除外		●	●	ゲストOS上のデータ保護不要なファイル/フォルダを個別に指定し、バックアップ、複製VMから除外、サイズと転送量の削減が可能				
リモートオフィス向け ゲストOS静止用プロキシ		●	●	ゲストOSに対する静止点作成処理をVeeam管理サーバからではなく、別サーバ(プロキシ)が代行、低速なWANを介したリモートオフィス環境での安定した静止処理や大規模環境での静止処理の負荷分散が可能				
プロキシ-リポジトリの マッピング オプション	v9.5	●	●	プロキシとリポジトリをマッピングし、リポジトリごとに使用可能なプロキシを制限。				
重複排除ストレージとの統合		●	●	重複排除ストレージ (EMC DD Boost、HPE StoreOnce Catalyst、ExaGrid) への書き込みパフォーマンス向上				
VMごとのバックアップ作成		●	●	ジョブに追加されているVMごとのバックアップファイルを作成するオプション 重複排除ストレージへの書き込みを複数ストリームで行いパフォーマンス改善				
フェイルオーバープラン		●	●	複製VMの起動順番、待ち時間を事前に設定し、ワンクリックでサイトのフェイルオーバーを実施				
WANアクセラレーション		●	●	仮想マシンに特化したキャッシュベースの転送高速技術によりバックアップコピー、レプリケーションにおけるオフサイトへの転送を最大50倍高速化。低帯域な環境でも災害対策を実現。 E: Veeam Cloud Connectターゲットのみサポート EP: すべてのターゲットをサポート				
I/Oコントロール		●	●	ソースのデータストア、ボリュームのレイテンシを、基にした「しきい値」に応じて、読み取り速度を調整し、運用ストレージの負荷をコントロール E: グローバル設定のみ EP: 各データストア、ボリューム単位で「しきい値」を設定可能				
スケールアウトバックアップリポジトリ		●	●	個別のリポジトリストレージ (エクステント) をまとめて、論理的な一つのリポジトリを作成、バックアップ保存先の構成を簡単に E: 3エクステントまで EP: 無制限				
ストレージスナップショット連携 (VMwareのみ)	Cisco HyperFlex v9.5 / EMC VNX、VNX2、VNXe、Unity / HPE 3PAR StoreServ、StoreVirtual、StoreVirtual VSA / NetApp FAS、FlexArray (Vシリーズ)、Edge VSA、IBM Nシリーズ (NetApp FAS OEM) / Nimble Storage AFシリーズ、CSシリーズ v9.5 のストレージスナップショットとの連携機能							
ストレージスナップショットからのリストア	●	●	●	VM、ゲストOSファイル、アプリケーションアイテムのリストアをサポート Veeamコンソールから数クリックで簡単にデータ復旧を実現し、RTOを削減				
ストレージスナップショットと連携したバックアップ		●	●	VMwareスナップショットの保持時間を可能な限り短くした、バックアップ・レプリケーションが可能。仮想環境への影響を削減し、高速で安定したデータ保護を実現				
ストレージスナップショットからのオンデマンドサンドボックス		●	●	ストレージスナップショット上の複数の仮想マシンをネットワーク的に隔離された環境で、起動可能安全かつ高速なテスト、トラブルシュート、トレーニング環境を迅速に作成				
二次ストレージからのバックアップ (NetApp / Nimble v9.5)		●	●	VMのデータを運用ストレージ上から取得する代わりに、NetApp SnapMirror、SnapVault / Nimble Replicated Copyといった2次のストレージ上からデータを取得、バックアップ実施中の運用ストレージへの影響を排除。				
整合性を保ったストレージスナップショットの作成 (NetApp / Nimble v9.5)	NetApp / Nimbleストレージと連携し、Veeamによるアプリケーション認識処理で整合性を保ったストレージスナップショットを保持/連携可能							
	S	E		EP				
	NetApp Snapshot Nimble Snapshot	NetApp Snapshot、SnapMirror Nimble Snapshot		NetApp Snapshot、SnapMirror、SnapVault Nimble Snapshot、Replicated Copy				
セルフサービス機能		VMオーナーやヘルプデスクにリストア権限を委任し、Web UIから1クリックで各種リストアを実施						
ワンクリックリストア		●	●	Web UIからVMの上書きリストア、複製VMへのフェイルオーバー、ゲストOSファイルインデックスからのファイルリストアが可能				
Microsoft Exchangeの アイテムリストア		●	●	Web UIからユーザ名のみを指定し、メールボックス内の欠落しているアイテムを自動検出、アイテムの中身をオペレータが見ることなくオリジナルへのリストアが可能。ヘルプデスクのオペレータでもリストア操作を簡単、安全に				
Microsoft SQL Serverの データベースリストア		●	●	Web UIから、「サーバ名\インスタンス名」でMicrosoft SQL Serverのデータベースを検索、任意の時間を指定し、オリジナルもしくは新規SQLサーバへのデータベースのリストアが可能。仮想環境に詳しくないデータベース管理者でも簡単に				
セルフリストアポータル		●	●	WindowsゲストOSのローカルのAdministratorsグループに含まれるユーザを検出し、そのVMのファイルリストア用Webポータルへのアクセス権を自動割り当て、管理者の手間なしに、各VMオーナーが仮想マシン名を意識せず自身でファイルリストアを簡単に実施可能				
セルフサービスリカバリ		●	●	Web UIにログインするリストアユーザやグループに対して、VM、ファイル拡張子、アイテムの種類を制限し、リストア権限を設定可能。制限されたユーザには権限のあるオブジェクトのみがリストアでき、他のVMは見えないため安全にリストアを委任可能				
vCloud Director組織のセルフサービス バックアップ/リストア	v9.5	●	●	ネイティブのvCloud Director認証を活用して、Webコンソールでテナント管理されたセルフサービスなバックアップ/リストア				